

## Salesforce FIDO キーの設定方法

Salesforce の多要素認証は 2022 年 2 月 1 日以降必須化と公表されております。弊社の FIDO キーは Salesforce と連携し、多要素認証 (MFA) を実現できます。

本資料は、Windows10 の環境で、Salesforce へ FIDO キーの追加及び設定方法を説明します。

2022 年 6 月 12 日に Salesforce の環境が Summer'22 にバージョンアップされ、WebAuthn(FIDO2)セキュリティキーをサポートしました。  
この変更によりユーザは ID 検証用に WebAuthn (FIDO2)または U2F セキュリティキーを登録できます。  
※以前に FIDO U2F として登録したキーがある場合は、Summer'22 の適用により、FIDO2 として PIN 認証が求められる場合があります。

下記目次のとおりで説明します。

<b>1. 事前準備 (Salesforce 管理者側)</b> .....	<b>2</b>
1.1. セキュリティキーの有効化.....	2
1.2. ログインユーザーに多要素認証を設定 .....	3
1.3. 各ユーザーに FIDO キーを配布.....	6
<b>2. 利用方法 (ユーザー側)</b> .....	<b>7</b>
2.1. 各ユーザーが利用する FIDO キーの登録 (初回のみ) .....	7
2.2. FIDO キーで Salesforce 登録 (2 回目以後) .....	11
<b>3. よくある質問</b> .....	<b>13</b>
【FIDO キーの登録関連】.....	13
質問 1: 利用者が既に [Salesforce Authenticator] を利用している場合は、どのように FIDO キーを登録しますか。.....	13
質問 2: セキュリティキーを登録する際に、「使用できません」エラーが発生 .....	14
【暗号番号 (PIN) 関連】.....	15
質問 3: FIDO キーの PIN を変更できますか .....	15
質問 4: FIDO キーの PIN を忘れてロックされた時の対処方法.....	16
【運用関連】.....	18
質問 5: FIDO キーが紛失した場合は、どうすれば良いでしょうか。.....	18
質問 6: FIDO キーと [Salesforce Authenticator] を併用可能でしょうか? .....	18

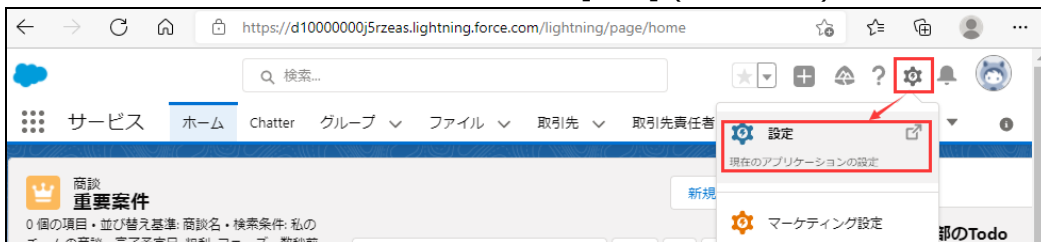
## 1. 事前準備（Salesforce 管理者側）

Salesforce 管理者が Salesforce の関連設定を実施して、各ユーザーに FIDO キーを配布すると、利用者が FIDO キーの登録及び利用できます。

下記では、Salesforce 管理者の設定方法を説明します。

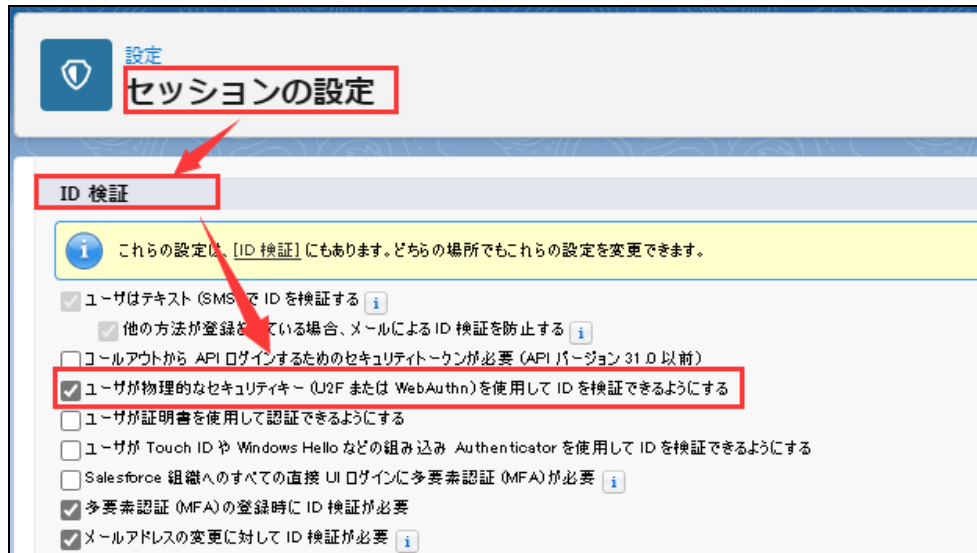
### 1.1. セキュリティキーの有効化

- 1、Salesforce 管理者でログイン後、画面右上にある [設定] (歯車アイコン) をクリックします。



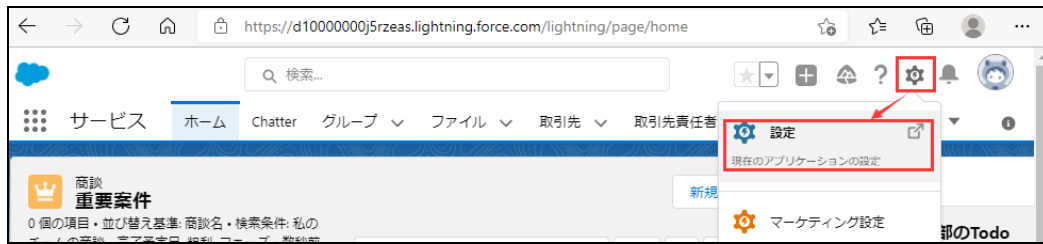
- 2、[クイック検索] ボックスに「セッションの設定」を入力し、[セッションの設定]を開きます。

- 3、[ユーザーが物理的なセキュリティキー（U2F または WebAuthn）を使用して ID を検証できるようにする] を選択して、保存します。

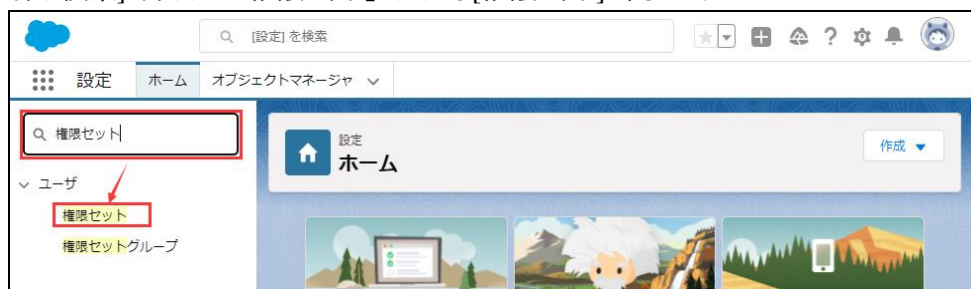


## 1.2. ログインユーザーに多要素認証を設定

- 1、Salesforce 管理者でログイン後、画面右上にある [設定] (歯車アイコン)をクリックします。



- 2、[クイック検索] ボックスに「権限セット」と入力し[権限セット]を開きます。



- 3、新しい権限セットを作成する場合は、[新規] ボタンをクリックします。

※当該ユーザーに適用する既存の権限セットを設定する場合は、このステップをスキップしてください。



例：MFA\_Testを入力し、[保存]をクリックします。

4、システム欄の [システム権限] のリンクをクリックします。

5、[編集]ボタンをクリックします。

権限の名前	有効	説明
[設定] でデータカテゴリを表示	<input type="checkbox"/>	[データカテゴリ] ページを表示します。
[表示先] リストを非表示	<input type="checkbox"/>	投稿の閲覧者の数と名前を非表示にして、非公開グループのプライバシーを向上させます。
AI インサイトオブジェクトの作成	<input type="checkbox"/>	インサイト、値、理由、フィードバックなど、AI レコードインサイトに関連付けられたオブジェクトを作成します。

6、[ユーザインターフェースログインの多要素認証]をチェックし、[保存] をクリックします。

権限セット MFA\_Test

設定の検索... | コピー 削除 プロパティを編集 割り当ての管理

権限セット概要 > システム権限

システム権限 **保存** キャンセル

▼ システム

権限の名前	有効	説明
[設定] でデータカテゴリを表示	<input type="checkbox"/>	データカテゴリ ページを表示します。
[表示先] リストを非表示	<input type="checkbox"/>	投稿の閲覧者の数と名前を非表示にして、非公開グループのプライバシーを向上させます。
省略		
ユーザインターフェースで多要素認証を管理	<input type="checkbox"/>	ユーザインターフェースのツールを使用して多要素認証を管理し、ユーザサポートを提供します。
ユーザインターフェースログインの多要素認証	<input checked="" type="checkbox"/>	ユーザは Salesforce 組織にログインするときにユーザ名とパスワードに加えて他の検証方法を提供する必要があります。
ユーザに非公開接続の変更を許可	<input type="checkbox"/>	メタデータ API、Tooling API、および Connect API を使用してユーザが非公開接続を変更できるようにします。

7、確認画面を確認し、[保存] をクリックします。

権限変更確認

これらの権限を保存しますか？  
権限を確認したうえで続行してください。これらの権限は組織のセキュリティおよびユーザエクスペリエンスに影響する可能性があります。

有効

アプリケーション権限	システム権限 ユーザインターフェースログインの多要素認証	オブジェクト権限
------------	---------------------------------	----------

無効

アプリケーション権限	システム権限	オブジェクト権限
------------	--------	----------

**保存** キャンセル

8、[割り当ての管理] ボタンをクリックします。

権限セット MFA\_Test

設定の検索... | コピー 削除 プロパティを編集 **割り当ての管理**

9、[割り当てを追加] ボタンをクリックします。

割り当てられたユーザ MFA\_Test

このページのヘルプ

A | B | C | D | E | F | G | H | I | J | K | L | M | N | O | P | Q | R | S | T | U | V | W | X | Y | Z | ア | カ | サ | タ | ナ | ハ | マ | ヤ | ラ | ワ | その他 **すべて**

**割り当てを追加** 割り当てを削除

氏名 ↑	別名	ユーザ名	最終ログイン	ロール	有効	プロフィール	マネージャ	有効期限
表示するレコードはありません。								

**割り当てを追加** 割り当てを削除

A | B | C | D | E | F | G | H | I | J | K | L | M | N | O | P | Q | R | S | T | U | V | W | X | Y | Z | ア | カ | サ | タ | ナ | ハ | マ | ヤ | ラ | ワ | その他 **すべて**

10、利用するユーザをチェックし、[割り当て] をクリックします。



### 1.3. 各ユーザーに FIDO キーを配布

各ユーザーに利用する FIDO キーを配布してください。

※ 弊社が検証した FIDO キーの型番は下記です：



ePass FIDO A4B



ePass FIDO-NFC K9



BioPass FIDO2 K45

Salesforce に対応できる FIDO キーに関しては、下記 URL を参照してください：

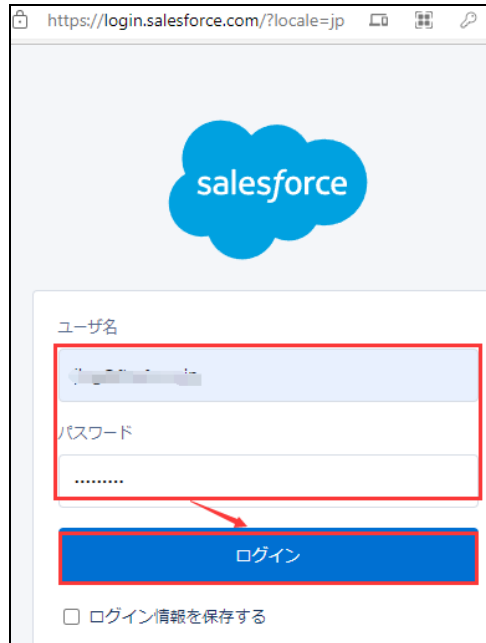
[https://ftsafe.co.jp/solutions/salesforce\\_fido\\_otp/](https://ftsafe.co.jp/solutions/salesforce_fido_otp/)

※ FIDO キーの裏面に番号が印字されます、管理しやすいため、ユーザーと FIDO キー番号の一覧を作成して方がお勧めします。

## 2. 利用方法（ユーザー側）

### 2.1. 各ユーザーが利用する FIDO キーの登録（初回のみ）

- 1、各ユーザーが Salesforce のログイン画面でユーザ名とパスワードを入力して、ログインします。

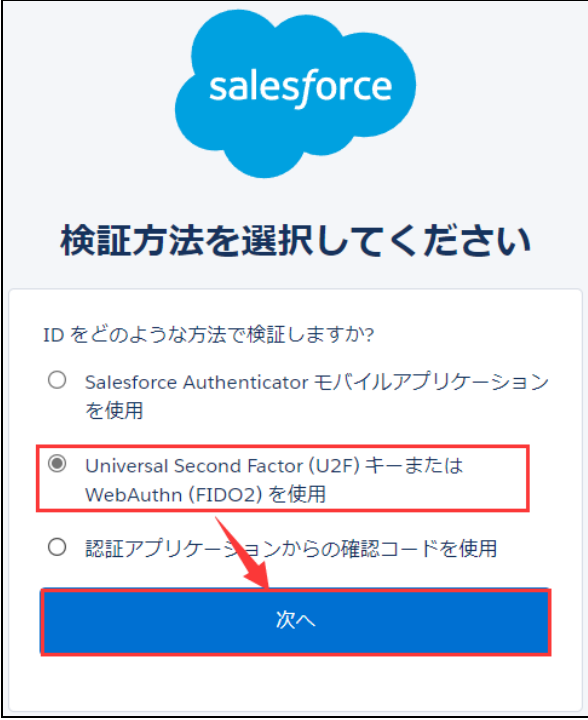


- 2、Salesforce Authenticator が利用されていない場合は、下記画面が表示されます。[別の検証方法を選択] をクリックします。



※ [Salesforce Authenticator] が既に利用されている場合は、Salesforce Authenticator の認証処理を行いますので、FIDO キーの登録方法に関しては、本資料の [3] の [質問 1] を参照してください。

- 3、 [Universal Second Factor (U2F) キーまたは WebAuthn (FIDO2) を使用] を選んで、 [次へ] ボタンをクリックします。



The screenshot shows the Salesforce authentication interface. At the top is the Salesforce logo. Below it is the heading "検証方法を選択してください" (Please select a verification method). The question "ID をどのような方法で検証しますか?" (How do you want to verify your ID?) is followed by three radio button options. The first option is "Salesforce Authenticator モバイルアプリケーションを使用" (Use Salesforce Authenticator mobile application). The second option, "Universal Second Factor (U2F) キーまたは WebAuthn (FIDO2) を使用" (Use Universal Second Factor (U2F) key or WebAuthn (FIDO2)), is selected and highlighted with a red box. A red arrow points from this option down to the "次へ" (Next) button, which is also highlighted with a red box. The third option is "認証アプリケーションからの確認コードを使用" (Use confirmation code from authentication application).

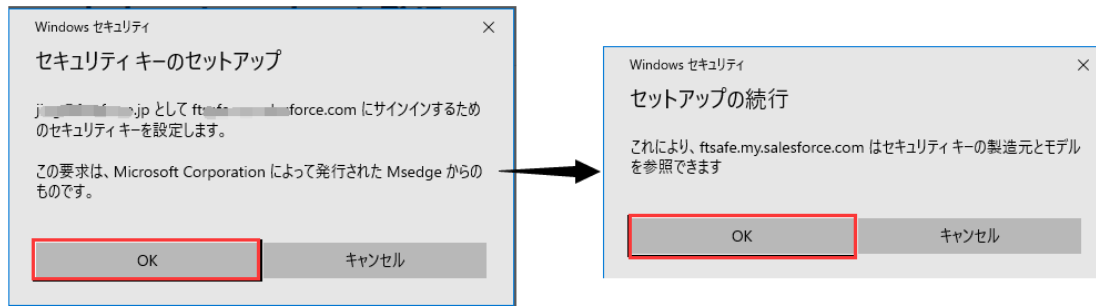
- 4、 [セキュリティキーを登録] 画面が表示されます。FIDO キーを接続してから、 [登録] ボタンをクリックしてください。



The screenshot shows the Salesforce security key registration interface. At the top is the Salesforce logo. Below it is the heading "セキュリティキーを登録" (Register security key). In the center is an icon of a security key. Below the icon is the text "ID の検証に使用できるように、セキュリティキー (U2F または WebAuthn) を登録します。" (Register your security key (U2F or WebAuthn) so you can use it for ID verification). Below this is the instruction "セキュリティキーを USB ポートに挿入します。このキーにボタンがある場合は、そのボタンを押します。" (Insert the security key into the USB port. If the key has a button, press the button). At the bottom are two buttons: "戻る" (Back) and "登録" (Register), with the "登録" button highlighted in red. Below the buttons is a link "別の検証方法を選択" (Select a different verification method).



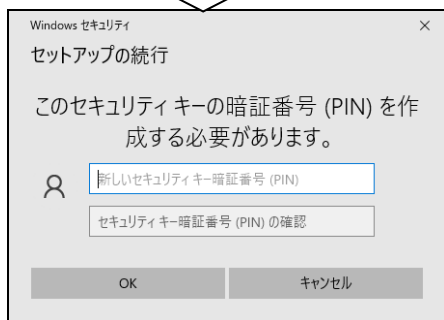
5、下記 2 つ画面の [OK] をクリックしてください。



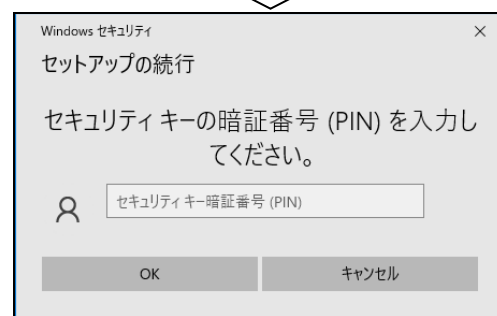
6、WebAuthn (FIDO2) で認証する場合は、FIDO キーの暗号番号 (PIN) を検証します。PIN が設定されていない場合は、PIN の設定画面が表示されます。

FIDO キーの暗号番号 (PIN) が設定されていない場合は、PIN 設定画面が表示されます。  
※4～63 桁の PIN を設定してください。

FIDO キーの暗号番号 (PIN) が既に設定されている場合は、PIN 入力画面が表示されます。PIN を入力して、[OK] をクリックしてください。



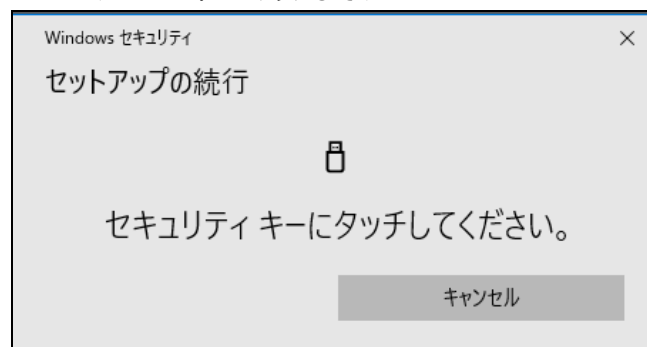
PIN 設定画面



PIN 入力画面

※ 一部環境のブラウザが WebAuthn (FIDO2) に対応せず、U2F (FIDO) で認証する場合は、PIN 認証画面は表示されません。PIN 認証画面の表示は Salesforce サービス側で決められます。

7、下記画面が表示されたら、FIDO キーをタッチしてください。



8、FIDO キーの名前を入力し、[保存] をクリックしてください。



salesforce

**セキュリティキーが登録されました**



登録を完了するには、セキュリティキーの名前を入力します。

セキュリティキー名

FEITIAN FIDO

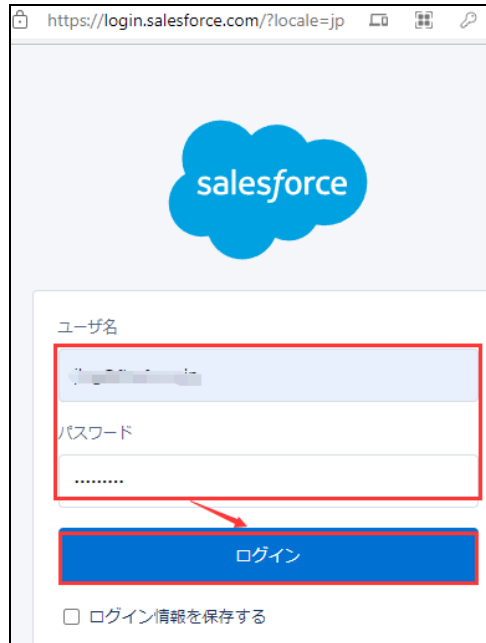
保存

9、Salesforce の画面が表示されます。FIDO キーの登録が以上となります。

## 2.2. FIDO キーで Salesforce 登録（2 回目以後）

1、各ユーザーが Salesforce のログイン画面でユーザ名とパスワードを入力して、ログインします。

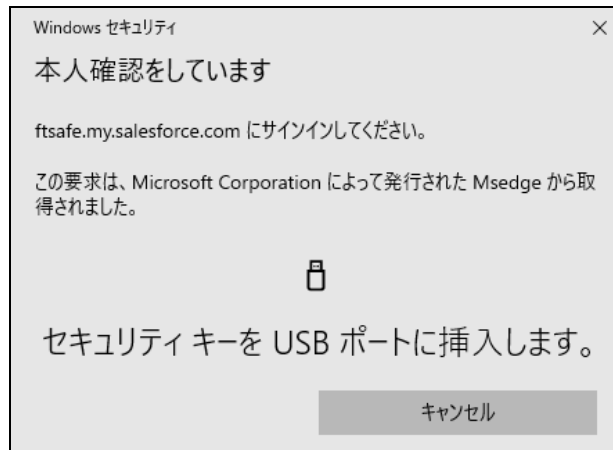
※この画面に、FIDO キーをタッチしないでください。



2、下記画面が表示されましたら、[検証] をクリックしてください。



3、もし FIDO キーが接続されていない場合、下記画面が表示されます。FIDO キーを接続してください。



4、FIDO キーの暗号番号 (PIN) を入力し、[OK] をクリックしてください。



※ 一部環境のブラウザが WebAuthn (FIDO2) に対応せず、U2F (FIDO) で認証する場合は、PIN 認証画面は表示されません。

5、下記画面が表示されましたら、FIDO キーをタッチしてください。



6、正しく認証できる場合は、Salesforce の画面が表示されます。

### 3. よくある質問

#### 【FIDO キーの登録関連】

**質問 1：利用者が既に [Salesforce Authenticator] を利用している場合は、どのように FIDO キーを登録しますか。**

回答：利用者が [Salesforce Authenticator] を既に利用している場合は、Salesforce にログインする際に、[Salesforce Authenticator] の認証処理を行いますので、FIDO キーは登録できません。

下記方法で登録できます：

■方法 1、Salesforce 管理者がユーザ設定画面に FIDO キーを登録

- 1、Salesforce 管理者でログインして、[設定] ⇒ [管理] ⇒ [ユーザ] ⇒ [ユーザ] の順にクリックし、当該ユーザを選択します。
- 2、 [セキュリティキー (U2F または WebAuthn) ] 右側の [登録] をクリックして、指示通りで登録できます。

■方法 2： [Salesforce Authenticator] を切断してから FIDO キーを登録

[Salesforce 管理者]

- 1、Salesforce 管理者でログインして、[設定] ⇒ [管理] ⇒ [ユーザ] ⇒ [ユーザ] の順にクリックし、当該ユーザを選択します。
- 2、 [アプリケーション登録：Salesforce Authenticator] 右側の [切断] をクリックします。

[利用者]

Salesforce にログインして、FIDO キーを登録できます。

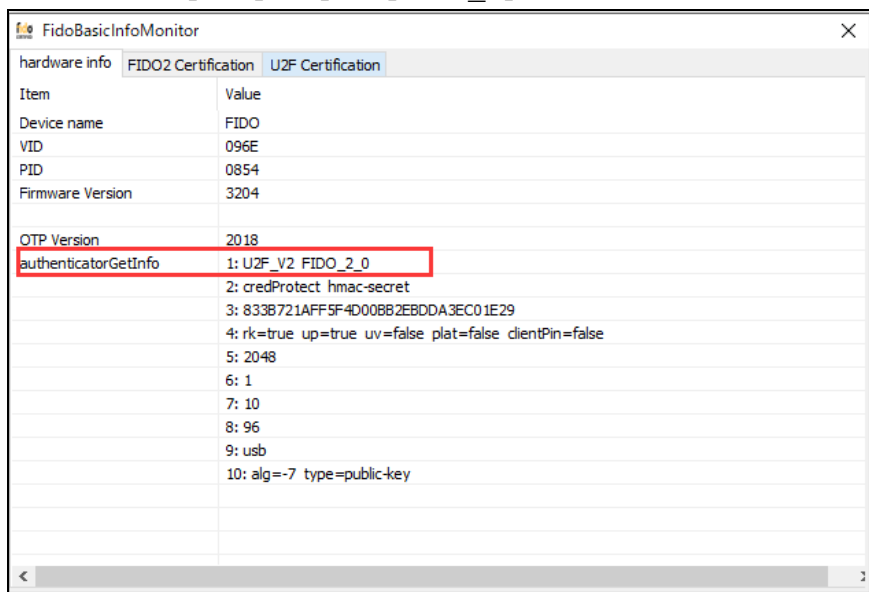
**質問 2 : セキュリティキーを登録する際に、「使用できません」エラーが発生**

詳細 : ユーザーのセキュリティキーを登録する際に、「このセキュリティキーは使用できません。別のセキュリティキーを使用してください。」エラーが発生します。暫くすると、「登録試行の期限が切れました」エラーに代わります。



回答 : ご利用している FIDO キーが U2F 及び FIDO2 を対応していない可能性が考えられます。下記方法で確認してください。

- 1、 <https://fido.ftsafe.com/get-security-key-information/> にアクセスします。
- 2、 <https://download.ftsafe.com/files/FIDO/FidoBasicInfoMonitor.exe> より [FidoBasicInfoMonitor.exe] をダウンロードしてください。
- 3、 [FidoBasicInfoMonitor.exe] を実行し、FIDO キーを接続して、[authenticatorGetInfo] に [U2F] や [FIDO\_2] が表示された場合は、利用可能です。

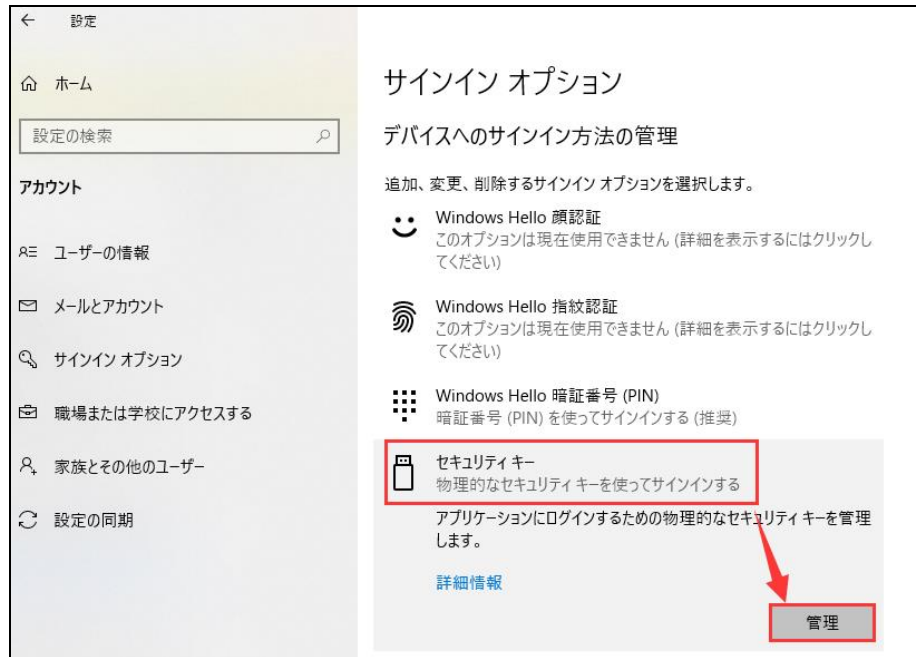


もし U2F や FIDO2 が表示されていない場合は、該当 FIDO キーが Salesforce に利用できません。

**【暗号番号 (PIN) 関連】****質問 3 : FIDO キーの PIN を変更できますか**

回答 : はい、下記手順で FIDO キーの PIN を変更できます :

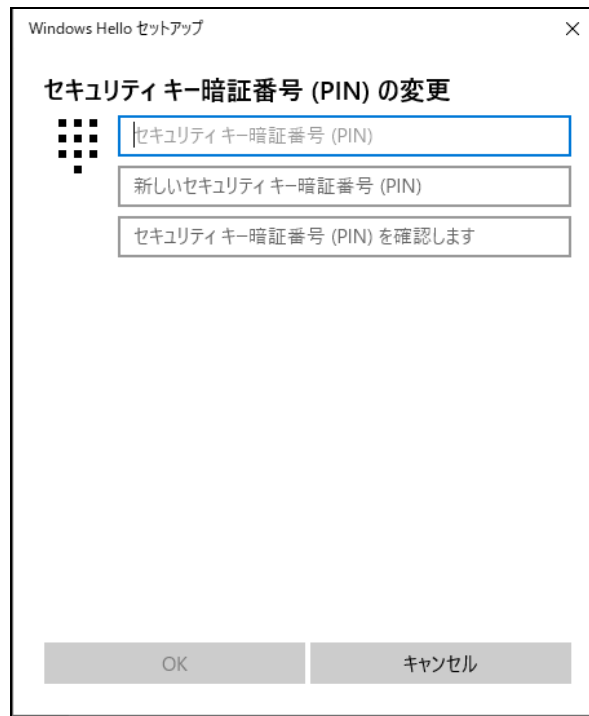
- 1、 FIDO キーを PC に接続します。
- 2、 Windows スタート⇒ [設定] ⇒ [アカウント] ⇒ [サインインオプション] ⇒ [セキュリティキー] ⇒ [管理] の順でクリックします。



- 3、 FIDO キーをタッチします。
- 4、 [変更] ボタンをクリックします。



- 5、 既存 PIN と新しい PIN を設定して、 [OK] をクリックしてください。



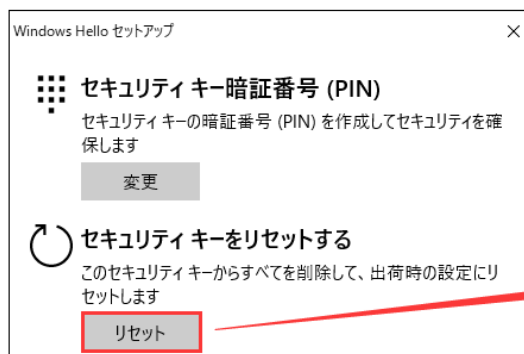
**質問 4 : FIDO キーの PIN を忘れてロックされた時の対処方法**

回答：通常は PIN が連続 3 回認証を間違えると、FIDO キーの抜き差しが求められます。連続 8 回認証を間違えるとロックされます。FIDO キーがロックされると、利用できませんので、PIN をリセットするしかありません。

※PIN がリセットされると、保存された認証情報がすべてクリアされますので、再登録する必要があります。

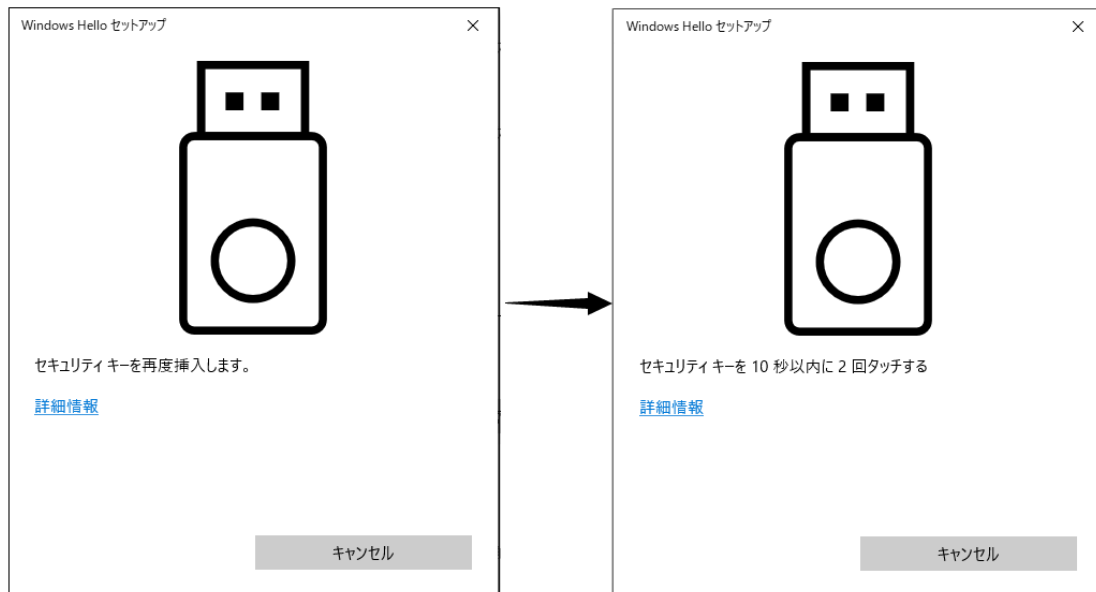
【PIN のリセット方法】：

- 1、 FIDO キーを PC に接続します。
- 2、 Windows スタート⇒ [設定] ⇒ [アカウント] ⇒ [サインインオプション] ⇒ [セキュリティキー] ⇒ [管理] の順でクリックします。
- 3、 FIDO キーをタッチします。
- 4、 [リセット] ボタンをクリックして、次の画面に [続行] をクリックします。





5、画面の指示に従って、FIDO キーを再度挿入し、10 秒以内に 2 回タッチします。



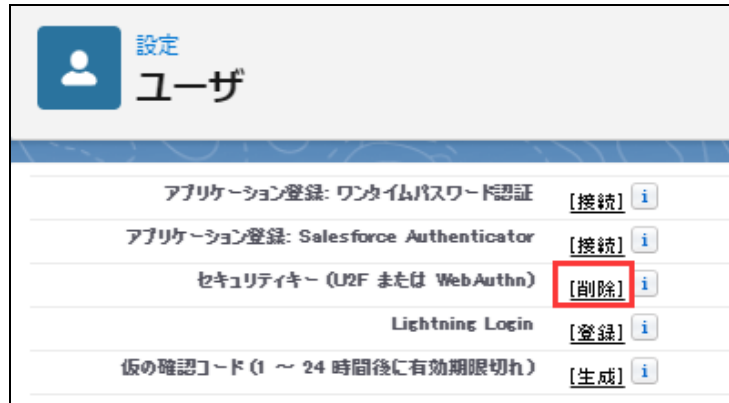
6、正しくリセットされたら、下記画面が表示されます。[完了] をクリックします。



※リセット後、Salesforce に再登録する必要があります。

**【運用関連】****質問 5 : FIDO キーが紛失した場合は、どうすれば良いでしょうか。**

回答 : Salesforce 管理者でログインして、当該ユーザーの設定画面に [セキュリティキー (U2F または WebAuthn) ] の右側の [削除] をクリックすると、FIDO キーが削除できます。



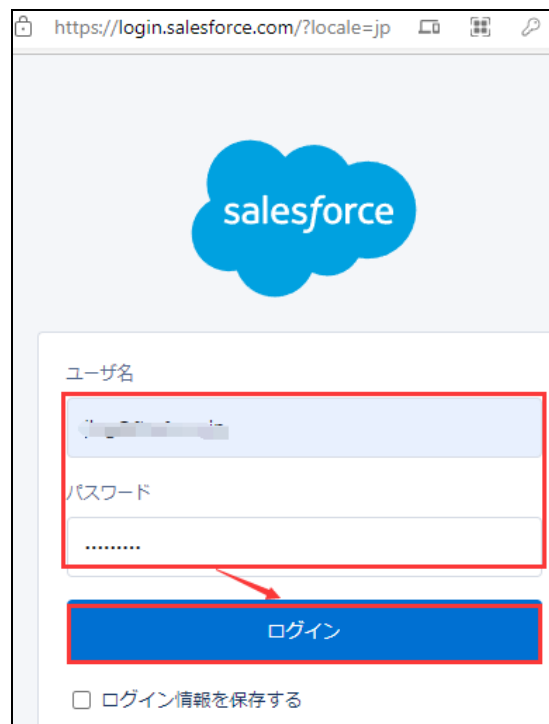
FIDO キーを入手したら、再度登録すれば、利用可能になります。

**質問 6 : FIDO キーと [Salesforce Authenticator] を併用可能でしょうか？**

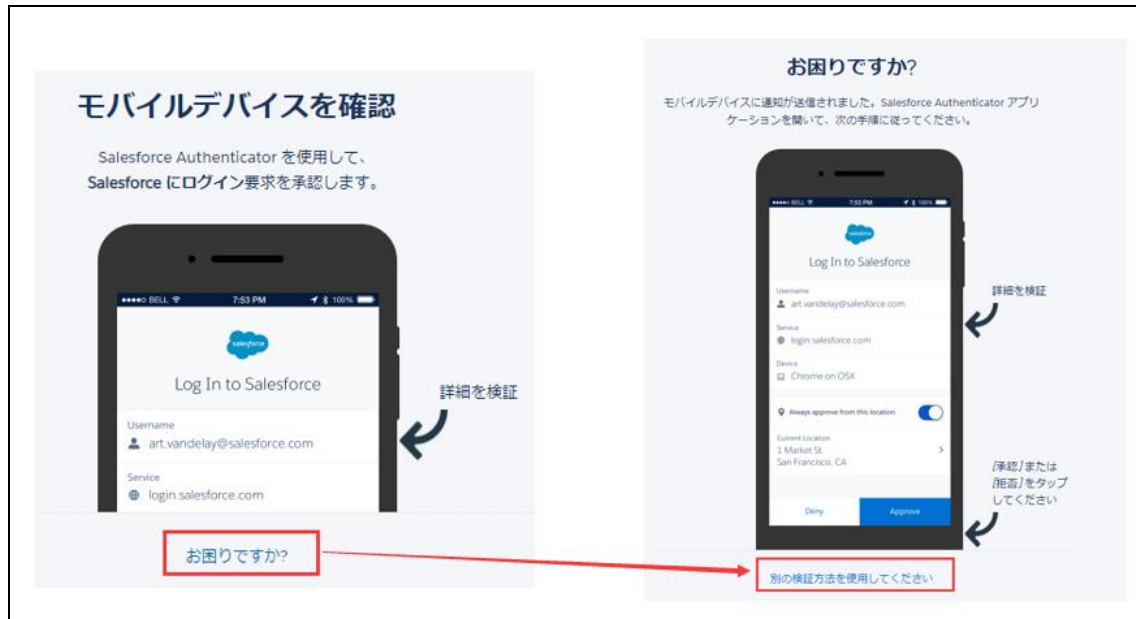
回答 : はい、可能です。

既に [Salesforce Authenticator] を利用している場合は、下記方法で登録できます。

1、Salesforce のログイン画面でユーザ名とパスワードを入力します。



- 2、 [モバイルデバイスを確認] 画面の下に [お困りですか] をクリックし、「別の認証方法を使用してください」をクリックするします。



- 3、 [Universal Second Factor (U2F) キーを使用] を選択して、[次へ] をクリックすると、FIDO キーの登録や認証ができます。

